

第 一 一 号

令和 年 月 日

申請のとおり相違ないことを認定します。

(注) 信用保証協会への申込期間

令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

佐伯市長 富 高 国 子

【注 1】本様式は、指定業種と非指定業種を兼業している場合であって、全体の売上高等に占める指定業種の売上高等の割合、指定業種及び申請者全体双方の売上高等の減少率が認定基準を満たす場合に使用する。

【注 2】 _____ 【注 2】には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(留意事項)

- ① 本様式は、業歴 1 年 3 か月未満の場合に使用します。
- ② 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ③ 市町村長又は特別区長から認定を受けた日から 30 日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。

(表 1 : 事業が属する業種毎の最近 1 年間の売上高)

業種 (※ 1)	最近 1 年間の売上高	構成比
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
企業全体の売上高	円	100%

※ 1 : 業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

(表 2 : 最近 1 か月間の売上高)

月	指定業種【A】①	全体【A】②
令和 年 月	円	円

(表 3 : A の期間の直前 3 か月間の売上高)

月	指定業種【b】①	全体【b】②
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
合計	円	円

(表 4 : A の期間の直前 3 か月間における指定業種の月平均売上高【B】①)

$$\frac{\text{【b】①}}{3} \text{ 円} = \text{円}$$

(表 5 : A の期間の直前 3 か月間における全体の月平均売上高【B】②)

$$\frac{\text{【b】②}}{3} \text{ 円} = \text{円}$$

裏面あり

(指定業種に係る売上高の減少率)

$$\frac{\text{【B】① 円} - \text{【A】① 円}}{\text{【B】① 円}} \times 100 = \quad \%$$

(全体に係る売上高の減少率)

$$\frac{\text{【B】② 円} - \text{【A】② 円}}{\text{【B】② 円}} \times 100 = \quad \%$$

(最近1か月間における全体の売上高等に占める指定業種の売上高等の割合)

$$\frac{\text{【A】① 円}}{\text{【A】② 円}} \times 100 = \quad \%$$

上記のとおり相違ありません。

申請者の名称及び代表者名

金融機関・税理士等

印

印

※なお、金融機関・税理士等の署名捺印がない場合には、各月売上高を確認できる資料（試算表、売上台帳等）が必要となります。